

VISUAL STUDIO
サブスクリプション
管理者ハンドブック

目次

2

編集者のメモ

3

Visual Studio
サブスクリプションの割り当て

- クイック スタート
- スーパー管理者ができること

5

Visual Studio サブスクリプションを割り当てる理由

7-16

Visual Studio
サブスクリプションの内容

- Visual Studio
- Azure Dev/Test の個別クレジット
- Azure Dev/Test の価格
- DevOps
- ソフトウェアとダウンロード
- サービス
- トレーニング
- サポート

17

管理者のベスト プラクティス

20-21

便利なリンク

- 管理者向け
- サブスクリイパー向け
- サブスクリプションについて

編集者のメモ

このガイドは、Visual Studio サブスクリプションの内容と、サブスクリプションを割り当てるのが皆さんが担っている役割にとって重要である理由を明確に説明すると同時に、サブスクリプションの管理を迅速に開始できるように設計されています。また、必要な作業を行うのに役立つすべてのリソースとサポート ツールの一覧を 1 か所で確認できるようになっています。

Visual Studio サブスクリプション管理のガイド

Visual Studio サブスクリプションの割り当て

クイック スタート - 使用を開始するための準備

このセクションでは、サインインから Visual Studio サブスクリプションの管理を迅速に開始するまでを、4 つの簡単なステップで説明します。追加のリソースは、「便利なリンク」セクションで確認できます。

1 Visual Studio サブスクリプション管理ページ (<https://aka.ms/VSSAdmin>) に移動し、[管理者ポータルへのサインイン] を選択してサインインします。

2 今後の使用に備えて、ポータルに直接アクセスできるように、<https://manage.visualstudio.com> をブックマークしておいてください。

サインインできない場合は、契約を担当するスーパー管理者にユーザーを追加してもらうことができます。ユーザーの追加に関する情報については、上記の Visual Studio サブスクリプション管理ページの「FAQ」セクションをご覧ください。

3 ポータルにアクセスすると、組織の契約でアクティブになっている Visual Studio サブスクリプションと割り当て済みの Visual Studio サブスクリプションを確認できます。ポータルの機能はユーザーの役割によって異なりますが、すべての役割で次のことを行うことができます。

- 個々のユーザーを追加、編集、削除する
- シンプルな Excel テンプレートを使用して複数のサブスクリプションを追加または編集する
- Microsoft Entra グループを使用して Visual Studio サブスクリプションを割り当てる (エンタープライズ契約を結んでいる組織で利用可能)。詳細については、<https://aka.ms/VSSadmin/assignmulti> で確認してください
- Visual Studio サブスクリプションの割り当てに関するレポートを確認し、割り当ての最大レベルを追跡する

4 ポータルのガイドについては、Visual Studio サブスクリプション管理ページ (<https://aka.ms/VSSAdmin>) で、管理者ポータルの使い方について説明するビデオをご覧ください。

また、管理ドキュメント (<https://aka.ms/AssignVSS>) ですべての機能を確認することもできます

スーパー管理者は、Visual Studio サブスクリプションを割り当てることに加えて、Visual Studio サブスクリプション管理ポータルで起こることに対してより多くの責任を負い、より多くのことを管理することができます。スーパー管理者は、次のことを行うことができます。

- 他のスーパー管理者または管理者を割り当てる
- サブスクリプション レベル、社外の従業員のアクセス、ダウンロード アクセスなどの Visual Studio サブスクリプションの割り当てに関する情報が自動で入力されるように、契約レベルの基本設定を行う。これを行う方法の詳細については、<https://aka.ms/VSSAdminPrefs> で確認してください

スーパー管理者としてオンボーディングを行う方法については、上記の Visual Studio サブスクリプション管理ページの新しい管理者向けのビデオをご覧ください。これは、管理ドキュメント (<https://aka.ms/VSSAdminOnboarding>) でも確認することができます。

Visual Studio サブスクリプションを割り当てる理由

- **生産性アップ** – Visual Studio サブスクリプションに備わっているさまざまな特典とサービスから得られる包括的なリソース セットにより、開発者の業務をスマート化してスピードアップし、効率的にデプロイすることができる
- **開発者の成長を促す** – 開発者はサブスクリプションに備わっている技術トレーニングや専門的なトレーニングを受け、Azure Dev/Test の個別クレジットにより Azure を使用してさまざまなことを試すことができる
- **組織の投資から利益を得る** – Visual Studio サブスクリプションを割り当てることで、投資から最大限の価値を引き出す

開発者は Visual Studio を使用してコードを短時間で記述し、他の開発者と共同で作業を進め、アプリケーションの分析、テスト、デプロイを行うことができます。しかし、Visual Studio サブスクリプションには、Visual Studio ライセンスには付属しない数多くの機能やサービスが備わっています。このガイドでは、含まれているすべての特典を詳しく紹介します。

自分の役割が重要である理由

Visual Studio はスタンドアロン ライセンスとして使用できますが、サブスクリプションを割り当てないと、利用できるすべての特典にアクセスできなくなります。サブスクリプションを割り当てることで、開発者が利用できるサービスと特典が増えます。これにより、開発者の成長を加速し、生産性を高め、新興のトレンドやテクノロジーを常に把握しておくことができます。

Visual Studio サブスクリプションには、IDEをはるかに超える開発者をサポートする機能やサービスが備わっています。



サブスクリプションの内容

Visual Studio という名前を聞くと、通常は統合開発環境 (IDE) が思い浮かびます。しかし、Visual Studio サブスクリプションには、IDE をはるかに超える開発者をサポートする機能やサービスが備わっています。

- **Tools** – 開発者に革新をもたらす強力なソフトウェア
- **Azure** – クラウドについて学び、その可能性をいろいろと試すチャンス
- **ソフトウェア ダウンロード** – 開発やテストに活用できる何千ものソフトウェア ダウンロードにアクセス
- **サービス** – 開発者に特有のさまざまなシナリオに対応するアプリやサービスにアクセス
- **トレーニング** – 開発者が技術スキルや専門スキルをレベルアップさせるのに役立つリソース
- **サポート** – 開発を進める中で直面するあらゆる技術的な問題の解決をサポート

次のページから、各特典についてさらに掘り下げて説明します。サブスクライバーが利用している Visual Studio サブスクリプションによっては、一部の特典を利用できません。このハンドブックでは、利用できる最も包括的なサブスクリプションである、Visual Studio Enterprise Subscription with GitHub Enterprise に付属する特典について説明します。他の Visual Studio サブスクリプションレベルに付属する特典との比較については、特典について説明しているページ (<https://aka.ms/VSSBenefits>) をご覧ください。

Visual Studio

開発者は Visual Studio サブスクリプションを使用することで、以前のすべてのバージョンに加えて、PC と Mac で常に最新バージョンの Visual Studio にアクセスできます。

Visual Studio Enterprise と Visual Studio Enterprise for Mac は、開発者がアプリケーションを構築するために使用できるツールです。Visual Studio は、要求の厳しい品質とスケールのニーズに対応した、あらゆる規模のチーム向けの統合されたエンドツーエンドのソリューションです。コードを記述するだけでなく、Visual Studio を使用して分析、デバッグ、テスト、共同作業、デプロイを行うことができます。

IntelliTest、Live Unit Testing、ライブ依存関係検証により生産性を高め、品質と精度の高いコードを短時間で提供できるようになります。これにより、最初の行からコードの質を高めることで、コードを記述することにより多くの時間を費やすことができます。

開発者は IntelliTrace、スナップショット デバッガー、CodeMap、Xamarin Profiler、Xamarin Inspector を使用して、問題の根本原因を迅速に把握することができます。これらの高度なデバッグ ツールと診断ツールを使用すれば、デスクトップ アプリ、Web アプリ、クラウド アプリ、モバイル アプリを問わず、より迅速にバグを修正することができます。

Visual Studio はクラウドに接続されているため、常に最新情報を入手してそれを開発者間で周知し、組み込みの機能やダウンロードした機能を活用して効率を高めることができます。また、Visual Studio Live Share を活用することで、開発環境を離れることなく、シームレスに共同作業を行うこともできます。Live Share により、開発者は自分が使い慣れたツールを使用して、他の開発者と協力してリアルタイムにコードの編集やデバッグを行うことができます。共有サーバー、ターミナル、差分、コメントにより、ペア プログラミングやコード レビューがより簡単に行えるようになっています。

Azure Dev/Test の個別クレジット

開発者には最大で 150 ドル分の Azure Dev/Test の個別クレジットが提供されます。これを活用して Azure について学び、いろいろと試すことができます。つまり、Azure を使用して、クラウドで仮想マシンの実行、データの保存、サーバーレスアプリの開発を試すことができるということです。クレジット カードは不要であるため、管理者として購買部門に予期しない請求が発生することを心配する必要はありません。Visual Studio のサブスクリバラーがクレジットの月額上限に達すると、翌月のクレジットが追加されるまでその Azure サービスは停止します。クレジット カードを登録することで、支出の上限を取り払うこともできます。

Visual Studio サブスクリプションがアクティブである限り、150 ドルの制限は毎月自動的にリセットされるため、何もしなくてもクレジットが手に入ります。

サブスクリバラーの 150 ドルで、Azure でどれくらいのことできるか気になりますか? Visual Studio サブスクリプション向け Azure の Web ページでは、さまざまなシナリオを紹介しています。各シナリオについて、価格計算ツールによってコストが自動入力されるので、サブスクリバラーは自分のクレジットを使用してどれくらいのことできるかを正確に把握することができます。

ご自身で確認するには、Visual Studio サブスクリバラー向け Azure の Web ページ (<https://aka.ms/VSSAzureScenarios>) にアクセスしてください。いずれかのシナリオの [製品と料金に関する詳細を確認する] をクリックし、下にスクロールして見積もりを確認してください。

Azure Dev/Test の価格

Visual Studio サブスクリバラーには、継続的な開発とテストをサポートするために、Azure の割引料金が適用されます。また、Azure のクレジットをさらに効果的に活用できるように、Azure におけるサブスクリプション ソフトウェアのクラウド使用権も付与されます。組織によっては、Dev/Test 価格設定オプションがいくつか設けられています。

Enterprise Dev/Test

組織が Azure サブスクリプションでエンタープライズ契約を結んでいる場合は、Enterprise Dev/Test オファーを通じて、Azure の割引価格が適用されます。このオファーは、Azure 登録ポータルに作成された特定の Azure サブスクリプション タイプで、自動的に Azure 割引料金が適用されます。

開発テスト用の従量課金制プラン

組織が Azure でエンタープライズ契約を結んでいない場合は、この方法で Azure Dev/Test を割引価格で利用することができます。これは、クレジット カード請求 (または請求書払い) に設定されている Azure アカウントを通じて設定できます。

Enterprise Dev/Test オファーと開発テスト用の従量課金制プラン オファーは、Visual Studio サブスクリバラーがいるチームの本番環境以外のニーズを満たすように設計されています。組織は基本的に、Microsoft 製品について Azure の割引を受けます。これらのオファーにより、開発者は事前に構成された仮想マシン (Windows 10 など) を使用して、クラウド内の開発/テスト環境でチームを迅速に稼働させ、Windows Virtual Machines、Cloud Services、SQL Database、HDInsight、App Service、Logic Apps を低価格で利用することができます。Azure により、ユーザーに対して、および請求とコスト センターが異なる指定の分離環境とサブスクリプションに対して、または単に使用量に基づいてチャージバックするために、コスト配分を提供する付加価値が得られます。

このオファーは、ソフトウェア開発者に加えて、管理者からエンド ユーザーまで、ソフトウェア ライフサイクルに関与しているすべての人を対象とし、その権利はユーザーが現在利用している Visual Studio サブスクリプションに由来します。オンプレミスの MSDN と同様

に、使用権は追加用途やテスト目的のためにエンド ユーザーのほか、追加の Visual Studio サブスクリプションを必要としないユーザーにも拡張されます。組織は実行する VM に対して、それが SQL Server、SharePoint Server、または通常はより高い料金で請求されるその他のソフトウェアを搭載した VM であっても、Linux の料金のみを支払うことになります。独自のカスタム仮想マシンイメージをアップロードしたり、Azure 共有イメージ ギャラリーから事前構成済みのイメージを使用したりすることができます。また、Windows Virtual Desktop を活用して、開発とテストの目的で数百台もの VM を迅速にデプロイして管理することもできます。

オファ어의詳細とその設定方法については、以下のページにアクセスしてください。

<https://aka.ms/devtestPR>

DevOps

Azure DevOps

Azure DevOps には、チームが作業の計画、コード開発の共同作業、アプリケーションの構築とデプロイを行えるよう、開発者サービスが用意されています。開発者は、クラウドで Azure DevOps Services を使用することも、オンプレミスで Azure DevOps Server を使用することもできます。サブスクライバーは、プラットフォームを問わず、あらゆるアプリの計画を立て、構築し、リリースすることができます。また、Azure Pipelines、Azure Boards、Azure Repos、Azure Test Plans、Azure Artifacts などの Azure DevOps の各種サービスをすべて使用することができます。

Azure DevOps の各種サービスの詳細と、それらが開発者にとってどのように役立つのかは、以下のとおりです。

- Azure Repos には、コードのソース管理用に Git リポジトリまたは Team Foundation バージョン管理 (TFVC) が備わっています
- Azure Pipelines には、アプリの継続的インテグレーションと継続的デリバリーをサポートする、ビルドサービスとリリースサービスが備わっています
- Azure Boards には、カンバンとスクラムの手法を使用して、作業、コードの欠陥、問題の計画と追跡をサポートする、一連のアジャイル ツールが備わっています
- Azure Test Plans には、手動/探索的テストや継続的テストなどのアプリをテストするためのツールが備わっています
- チームは Azure Artifacts を使用して、パブリックソースとプライベートソースから Maven、npm、NuGet のパッケージを共有し、CI/CD パイプラインにパッケージ共有を統合することができます

GitHub Enterprise

開発者は GitHub Enterprise を使用して、オープンソースのコード、コミュニティ、ベストプラクティスをエンタープライズプロジェクトに安全に取り込むことができます。柔軟性の高いセキュリティ、コンプライアンス、デプロイの各コントロールにより、チームは必要なときに必要な場所で簡単に GitHub Enterprise を使うことができます。

開発者は、Visual Studio に組み込まれた GitHub 拡張機能を使用して、より迅速かつ簡単に作業を開始することができます。また、GitHub は Azure DevOps とネイティブに統合されているため、開発者はコラボレーションワークフローと一連の最新の開発サービスを使用して、よりスマートに計画を立て、リリースまでの時間を短縮できるようになります。バグとタスクをコードに関連付けることで、バグ修正がリリースされるタイミングを、Visual Studio 内で把握できます。開発者は、GitHub や Azure DevOps などのオンラインリポジトリからコードをすぐに複製することができます。IDE でリポジトリを作成し、変更やコミットされたコードを通じて Git を管理することができます。

ソフトウェアとダウンロード

Visual Studio サブスクリプションは、Visual Studio スタンドアロン製品とは異なり、開発やテスト目的で使用できる何千もの Microsoft ソフトウェアダウンロードにアクセスできます。これにより、膨大な数の既存のソフトウェアに対して、ビルドやコードなどをテストする機会が得られます。

ソフトウェアには、現在と過去のバージョンの Windows オペレーティングシステム、Windows Server、Microsoft SQL Server、R Server、SharePoint、Exchange、Dynamics などのサーバーが含まれます。

Visual Studio Enterprise サブスクライバーは、Office 365 ProPlus と Office Professional Plus 2019 を運用環境で使用することもできます。ダウンロードの全一覧については、こちらの Excel ファイルをダウンロードして確認してください。

<https://aka.ms/VSSsoftware>

サービス

開発者が日常業務をこなすのに役立つ、幅広いサービスを利用できます。開発者に Visual Studio サブスクリプションが割り当てられている限り、<https://my.visualstudio.com> からポータルにサインインし、これらのサービスをアクティブにするだけで使用を開始できます。Visual Studio サブスクリプションの特典をアクティブにする方法の詳細については、<https://aka.ms/VSSDocs> をご覧ください。

Microsoft 365 開発者サブスクリプション (E5) – EMS と Office 365 の組み合わせ

Microsoft 365 E5 の開発者サブスクリプションには、開発者がソリューションを構築するために使用できる、1 つの管理者ライセンスと 24 個のユーザーライセンスが付属します。Visual Studio サブスクライバーは、Microsoft Graph、SharePoint、Teams、Azure AD、Excel、Outlook を使用して開発を進めることができます。

また、Microsoft 365 の重要なワークロードと機能への拡張されたアクセスも備わっています。Microsoft 365 E5 サンドボックス サブスクリプションを使用する開発者は、次を活用できます。

- Power BI の高度な分析
- Enterprise Mobility + Security (EMS) によるコンプライアンスと情報の保護
- Microsoft Defender for Office 365
- Microsoft Entra による高度な ID とアクセス管理ソリューションの構築

Power BI Pro – すべての組織が利用できる分析

開発者は、すべてのデータ (ストリーミング ソースを含む) に接続し、それをさまざまな機能が備わった対話型の視覚表現に変換することができます。同僚とダッシュボードを共有し、共同で作業を進めることで、KPI を簡単に追跡して、データに基づいて意思決定を行うことができます。

Visual Studio App Center – アプリのライフサイクル管理

開発者は、iOS、Android、Windows、macOS 向けのアプリを構築、テスト、デプロイ、監視することができます。高品質のアプリをより短時間で自信をもってリリースすることができます。

このサービスを使用すると、アプリのライフサイクルを自動化できます。リポジトリに接続してわずか数分でクラウド内にアプリを構築し、何千台もの実機でテストを行い、ベータ テスターやアプリストアに配布して、クラッシュや分析データを活用して実際の使用状況を監視する。これらすべてを 1 か所で行うことができます。

Windows 開発者アカウント

Visual Studio サブスクライバーはこのサービスを使用して、すべての Windows デバイス用の無料および有料のアプリを Microsoft Store に提出することができます。

WhiteSource Bolt

開発者はこれを使用して、オープンソースの脆弱性を見つけて修正し、ビルド内のすべてのオープンソースコンポーネントの包括的なインベントリレポートとライセンスレポートを生成することができます。

トレーニング

開発者は、付属のトレーニングを活用してスキルのレベルアップを図り、最新のテクノロジーに常に対応することができます。各種トレーニングは特別なユースケースシナリオに合わせてカスタマイズされており、Visual Studio サブスクリイバーが開発プロジェクトを次のレベルに引き上げるのに役立つスキルを習得できるように設計されています。

Visual Studio サブスクリプションポータル (<https://my.visualstudio.com>) にアクセスし、お使いのサブスクリプションレベルに付属するトレーニング特典をアクティブにすることで、すぐにコースの受講を開始することができます。

Pluralsight – クラウド、設計、セキュリティ、モバイル、データ

Pluralsight のカタログに掲載されているコースを受講して、サブスクリイバーのスキルをレベルアップさせましょう。専門家が作成したコースや学習パスを入手し、適応スキルの測定などを行うことができます。

LinkedIn Learning – ビジネス、テクノロジー、クリエイティブ分野のトレーニング

開発者がキャリアアップを図るために必要な人物、インサイト、スキルにアクセスできる LinkedIn の力を存分に活用しましょう。

DataCamp – データサイエンスと AI

DataCamp は、企業や個人の学習者がデータをより有効に活用するのに役立ちます。サブスクリイバーは、世界トップのデータサイエンティストから学びつつ、オンラインでデータの扱いに磨きをかけることができます。

CODE Magazine

あらゆるプラットフォームの開発技術を扱ったソフトウェア開発者向けの一流独立系雑誌に無料でアクセスできます。

サポート

経験豊富な開発者でも、ヘルプやサポートを必要とします。開発において困難な状況に直面したときにサブスクリイバーを手助けする、いくつかのサポートオプションが用意されています。

テクニカルサポート

お使いの Visual Studio サブスクリプションに応じて、最大で 4 つの Microsoft テクニカルサポートインシデントがもらえます。非運用環境で発生した問題の解決をサポートします。

コンシェルジュチャット – 24/7 サポート

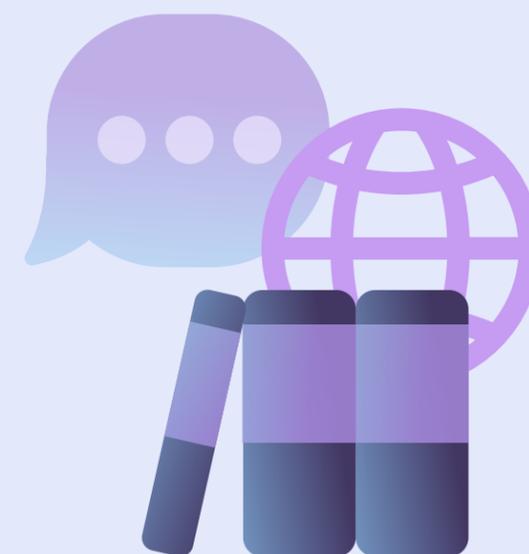
技術文書や製品情報の検索、サブスクリプションの特典利用について、チャットでサポートを受けることができます。

管理者のベスト プラクティス

以下に、皆さんと組織が成功を収めるための推奨事項をいくつか紹介します。

- 管理者としての皆さんの役割に影響を及ぼす新機能や変更のタイミングを把握できるように、Visual Studio サブスクリプションの管理者向けニュースレターを受け取るように設定しましょう。
<https://aka.ms/VSSAdminProfile>で基本設定と割り当ての設定を管理し、Visual Studio サブスクリプションのチェック ボックスをオンにしてください。
- スーパー管理者の場合は、組織に複数のスーパー管理者を確保しましょう。こうすることで、1 人のスーパー管理者がオフィスを離れている際にも、管理者やサブスクリパーを追加する役割を補佐する人員を確保できます。スーパー管理者は管理者とサブスクリプションを管理できますが、管理者が管理できるのはサブスクリプションのみです。
- サブスクリパーに Visual Studio サブスクリプションに付属する特典をアクティブにし、有効活用するよう勧めましょう。製品や特典に関する更新情報を入手できるように、サブスクリパー向けニュースレターを受け取るように設定してもらいましょう。
- Visual Studio サブスクリプションの管理者向け Web ページと、Visual Studio サブスクリプション管理ポータルを定期的にチェックして、変更点やニュースを見逃さないようにしましょう。

必要な作業を
行うのに役立つ
サポート ツール
が 1 つに



便利なリンク

管理者向け:

- Visual Studio Subscriptions 管理者向け Web ページ:<https://aka.ms/VSSAdmin> このページでは、サブスクリプションを割り当てる理由、サブスクリプションを割り当てる方法について説明するビデオ、さまざまな質問に回答する詳細な FAQ セクションのほか、更新情報を確認できます。
- Visual Studio Subscriptions 管理者ポータル:
<https://manage.visualstudio.com> このリンクから直接サインインして、サブスクリプションを管理することができます。
- Visual Studio サブスクリプション管理者向けのハウツー ビデオのプレイリスト:<https://aka.ms/VSSAdminVideos>
- Visual Studio サブスクリプション管理者向けのハウツー ドキュメント:<https://aka.ms/VSSAdminDocs>
- Visual Studio サブスクリプション管理者向けサポート:<https://aka.ms/VSSAdminSupport>

サブスクライバー向け:

- Visual Studio サブスクライバー ポータル:<https://my.visualstudio.com> サブスクライバーはこのリンクから直接サブスクリプションにサインインすることができます。
- Visual Studio サブスクライバー向け Azure:<https://aka.ms/AzureForVSS> Visual Studio サブスクライバーに Azure Dev/Test の個別クレジットの使用を勧め、その使い道と価格設定を紹介することで、手持ちのクレジットでどれだけのことができるかを確認できるようになっています。

サブスクリプションについて:

- Visual Studio サブスクリプション:<https://aka.ms/VSSubs> Visual Studio サブスクリプション全般の概要ページです。
- Visual Studio のライセンスと用途:<https://aka.ms/VSLicensing> この pdf では、Visual Studio サブスクリプションのライセンスの使用権を付与する方法とさまざまなシナリオを紹介しています。
- Visual Studio サブスクリプションの特典比較ページ:<https://aka.ms/VSSBenefits> このページで Visual Studio サブスクリプションを選択して、そのサブスクリプションに付属する特典と、簡単な説明を確認することができます。
- Visual Studio サブスクリプションの価格ページ:<https://aka.ms/VSSPricing> すべての Visual Studio サブスクリプションを比較し、価格情報を確認することができます。